

令和元年中の人口10万人当たりの人身交通事故発生件数等について

本市では、平成27年度より、政令指定都市人口10万人当たり人身交通事故件数「ワースト1」の脱出を目指し、ソフト・ハード対策の両輪で取り組んできました。

この度、令和元年1月～12月の各都市の人身事故件数が取りまとめられましたので、お知らせいたします。

まず、本市の人身交通事故件数については、6,582件となり、これは対前年比988件の削減、対平成26年比2,333件の削減を達成できました（表1、図1）。

また、他都市との比較では、差は縮まっているものの、残念ながら11年連続ワースト1となりました（表2）。

それでも、令和2年上半期（1～6月：速報値）時点では、すでに643件の削減が報告されており、前年を上回るペースとなっております。

今後も引き続き、取り組みを推進する浜松市交通事故防止対策会議の自治会、警察、交通安全協会等の方々と情報共有・連携して、安全対策に取り組み、交通事故の大幅削減を目指してまいります。

○これまでの取り組み内容

<ソフト対策>

- ・交通安全運動、ゼロを目指す日の街頭広報の実施（毎年約25回）
- ・市民交通安全の日の一斉街頭取締り（毎年9回）
- ・児童・高齢者等への交通安全教育の実施（毎年約2800回）

<ハード対策>

- ・通学路安全対策（424件）
- ・止まれや区画線更新等の交差点リフレッシュ（15,041箇所）
- ・中央分離帯開口部閉塞（9箇所） など

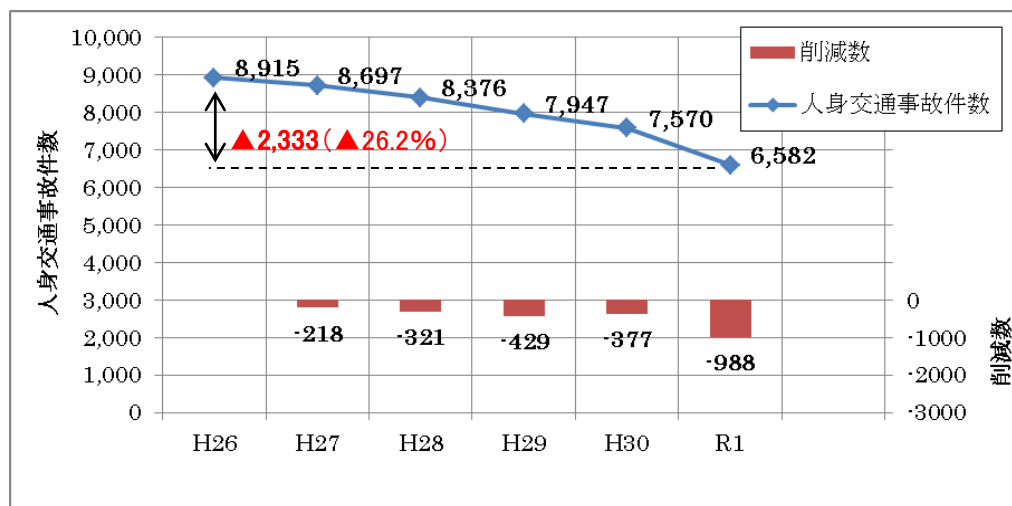


図1 人身交通事故件数と事故削減数の推移

表1 本市の人身交通事故発生状況

(単位：件)

	H26年 事故件数	R1年 事故件数	削減数 (5年間計)	削減率 H26年比	R2年末 目標	目標まで
全体	8,915	6,582	2,333	△26.2%	6,000	△582
中区	2,918	2,229	689	△23.6%	1,964	△265
東区	1,919	1,394	525	△27.4%	1,292	△102
西区	1,052	780	272	△25.9%	708	△72
南区	1,107	754	353	△31.9%	745	△9
北区	951	646	305	△32.1%	640	△6
浜北区	800	661	139	△17.4%	538	△123
天竜区	168	118	50	△29.8%	113	△5

表2 令和元年中の政令指定都市人身交通事故発生状況

(単位 件)

都市名	事故件数	死者数	負傷者数	死傷者数 合計	人口	人口10万人当たりの 人身交通事故件数
					R2.1.1現在の 推計人口	
札幌市	4,707	28	5,262	5,290	1,970,591	238.9
仙台市	2,743	21	3,303	3,324	1,090,606	251.5
さいたま市	3,309	20	3,886	3,906	1,309,768	252.6
千葉市	2,574	14	3,089	3,103	980,219	262.6
川崎市	2,920	21	3,317	3,338	1,531,646	190.6
横浜市	8,398	50	9,699	9,749	3,749,929	224.0
相模原市	2,215	7	2,566	2,573	722,796	306.4
新潟市	1,485	11	1,760	1,771	795,597	186.7
静岡市	4,394	17	5,309	5,326	690,523	636.3
浜松市	6,582	16	8,531	8,547	791,442	831.6
名古屋市	9,525	33	11,301	11,334	2,328,653	409.0
京都市	3,244	31	3,707	3,738	1,465,701	221.3
大阪市	10,080	34	11,700	11,734	2,743,735	367.4
堺市	3,053	13	3,621	3,634	827,709	368.8
神戸市	5,583	32	6,653	6,685	1,522,273	366.8
岡山市	2,106	26	2,385	2,411	719,474	292.7
広島市	2,651	19	3,181	3,200	1,199,180	221.1
北九州市	5,542	19	7,412	7,431	939,450	589.9
福岡市	7,758	18	9,466	9,484	1,595,674	486.2
熊本市	2,084	22	2,512	2,534	739,393	281.9